

令和8年9月市議会 建設水道委員会資料

所管事項調査に関する資料

【目 次】

【ページ】

1 起債借入超過に伴う繰上償還について	2～6
---------------------------	-----

東総合事務所
令和 8 年 9 月

1 事業概要

【単独】道路新設改良事業費 地方道路等整備事業費(総合事務所)に係る令和6年度及び7年度の市債借入について、借入超過が生じていることが判明したことから、繰上償還に係る元金及び補償金を計上するもの。

予 算 説 明 書					事 業 名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
30～31	12 公債費	1 公債費	1 元金		元金	千円 11,600
			3 公債諸費		公債諸費	3,238

2 補正内容

【単独】道路新設改良事業費 地方道路等整備事業費(総合事務所)

(1) 繰上償還額(超過額)

ア 元金 11,600千円

イ 補償金 3,238千円※

(2) 借入先 地方公共団体金融機構

(3) 借入日及び借入額 R6年度借入額: 86,900千円 利率: 1.3% (借入日R7.5.29)

R7年度借入額: 124,200千円 利率: 2.4% (借入日R8.5.28)

(4) 償還予定日 令和8年9月24日

※補償金とは

借入先が被る損失(「①繰上償還以後も受け取り続けられるはずであった利息収入」と「②繰上償還を受けた資金を元手に新たな貸付を行うことにより得られる利息収入」の差額)に対応する補償金について、借用証書における特約条項に基づき支払うもの。

②の額は、繰上償還の直前にならなければ借入先から示されないため、①の額3,238千円を予算計上するもの。

3 理由、経過及び原因と再発防止策

【単独】道路新設改良事業費 地方道路等整備事業費(総合事務所)

令和6年度から令和7年度にかけて里道の整備工事を実施した。事業の財源である市債(一般単独事業債(地方道路等整備事業))の起債対象となる整備工事は、道路、農道及び林道の整備が対象となっている。法定外公共物である里道は起債対象外であるが、道路には里道を含むものと誤認し、市債の借入を行ったことから借入超過が生じたもの。

(単位:千円)

年度	項目	起債対象外 事業費 (里道整備分)	起債対象 事業費(A)	財源内訳	
				地方債 ※1 (A)×90%	一般財源
令和6年度	借入時の誤った財源構成	0	96,660	86,900	9,760
	本来の正しい財源構成	328	96,332	86,600	10,060
	差 額			▲300	300
令和7年度	借入時の誤った財源構成	0	138,030	124,200	13,830
	本来の正しい財源構成	12,475	125,555	112,900	25,130
	差 額			▲11,300	11,300
合計	借入時の誤った財源構成	0	234,690	211,100	23,590
	本来の正しい財源構成	12,803	221,887	199,500	35,190
	差 額			▲11,600	11,600

※1 地方道路整備事業債 90%(交付税措置 -%)

繰上償還額

(1) 経過

時期	内容
令和7年5月 (令和6年度借入)	単独事業の市債の借入を行う際に、起債対象外の経費(里道整備工事)を含めて市債(一般単独事業債(地方道路等整備事業))の借入を行う。
令和8年5月 (令和7年度借入)	前年度の借り入れ誤りに気付かず、再度起債対象外の経費(里道整備工事)を含めて市債の借入を行う。
令和8年6月22日	令和8年度監査(後期)の対象工事抽出のため、「市道かき道29号線ほか道路改良工事」の工事原議を提出したところ、里道への地方債適用について事前に確認してほしいと連絡を受け、翌日、地方債の適用について県に確認を行ったところ、地方債の同意基準の地方道路等整備事業に示されている「道路」は道路法上の道路であり、法定外公共物である里道は含まれないとの見解を受けた。

(2) 原因と再発防止策

ア 原因

事業担当課として起債事務に関する知識が不十分であり、決裁機能が十分に働いていなかったことから、誤りに気づけなかったもの。

イ 再発防止策

総合事務所間で行っている地域整備課連絡会議において、当事例の共有と注意喚起を図るとともに、所属として、各地方債の適用要件の確認点検を確実に行之、適正な予算計上と予算執行を行う。また、予算計上、執行、支出におけるすべての過程で新たに作成したチェックシートを用いて事業担当課と経理担当課双方で地方債の適用要件の確認を行う。

(3) 全庁における再発防止策

今回の事例を踏まえ、適正な予算執行、交付金事務及び起債事務に関する内容を全庁あてに発出し、当事例の共有と事務誤りに対する注意喚起を行う。また、全庁の筆頭課及び経理担当課などを対象とした予算編成・起債事務ミス防止研修を新たに実施し、予算編成及び起債事務の知識習得を図るとともに、事務誤りの事例等を交えた演習により、再発防止を図る。

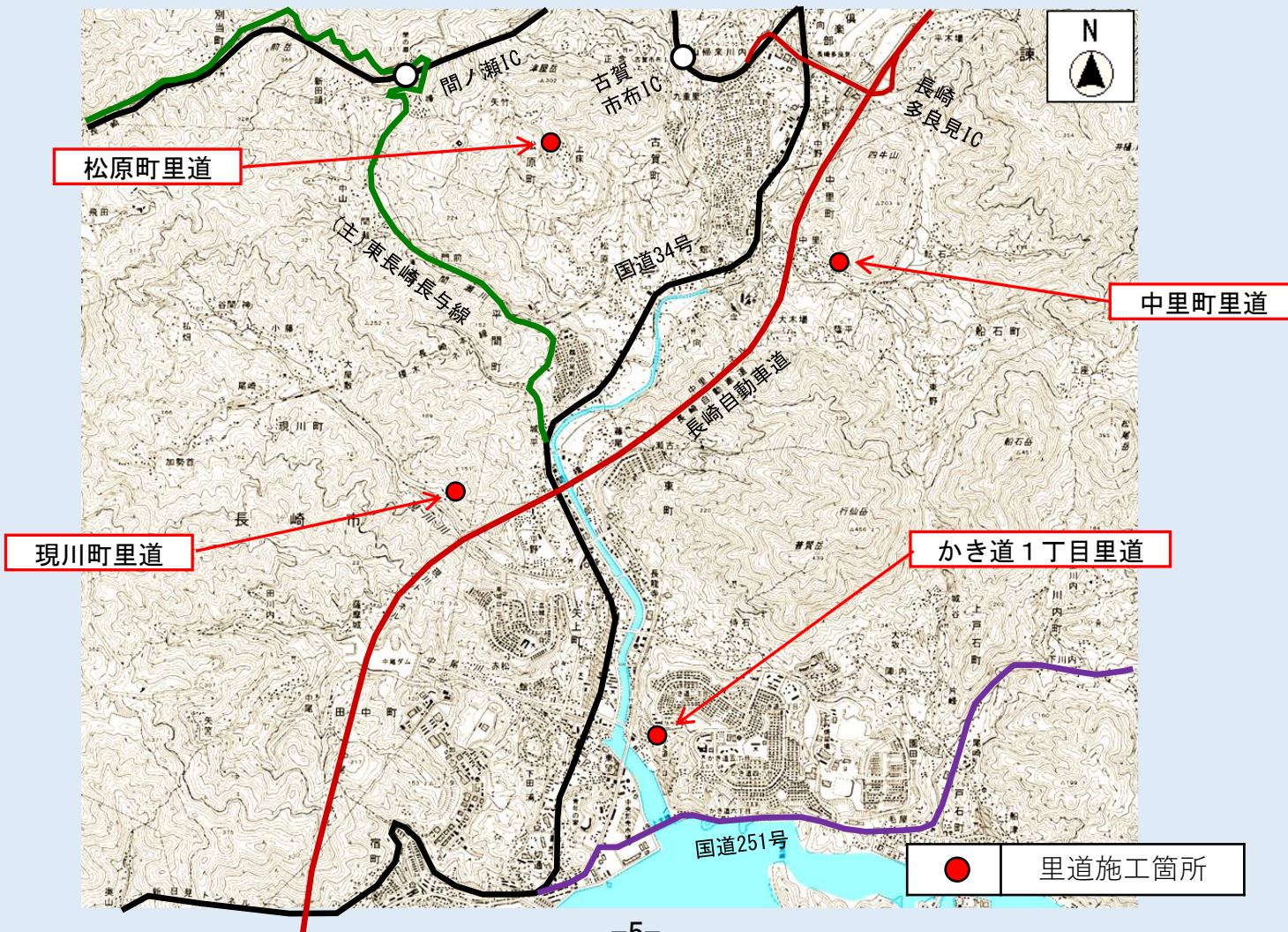
(4) 里道工事箇所

ア 市道かき道29号線ほか道路改良工事(工期:R7.2.6~R7.7.15)

里道工事箇所・・・かき道1丁目

イ 市道矢上町現川町線ほか2線道路改良工事(工期:R7.3.27~R7.11.7)

里道工事箇所・・・現川町、中里町、松原町



4 財源内訳

事業名	区分	事業費	財 源 内 訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
元金		千円	千円	千円	千円	千円	千円
	補正前の額	23,476,509	－	30,804	－	1,351,140	22,094,565
	補正額	11,600	－	－	－	－	11,600
	補正後の額	23,488,109	－	30,804	－	1,351,140	22,106,165
公債諸費	補正前の額	50	－	－	－	－	50
	補正額	3,238	－	－	－	－	3,238
	補正後の額	3,288	－	－	－	－	3,288